

大和屋 設計・施工マニュアル

－木製玄関引き戸－

設計・施工の前に必ずお読みください

設計のご注意

- 下記の場所への設置は、極端な反り・狂いなど不具合の原因となりますのでおやめください。
 - ・直射日光が当たる場所
 - ・直接雨がかりがある場所
- 躯体への取り付けの詳細納まりは壁構成によって異なります。別途用意しております参考納まり図をご確認のうえ、現場状況に合わせた設置方法のご検討をお願いいたします。
- その他お気づきの点やご不明点等ございましたら必ず設計前にご相談ください。

施工の前に

- 本製品は高い性能を出すために「ヘーベシーベ金物」を使用しており、取り付け後の細かい調整ができません。施工の際は下地や水平・垂直など正しく設置されていることを必ずご確認ください。
- 直射日光や雨の当たる場所、湿度が高い場所での保管は避けてください。
- 立て掛けての保管は反りや曲がりの原因となります。必ず平置きにして保管してください。
- 本商品は完成品です。運搬、荷卸し、施工の際にはキズや打痕、汚れ等には十分注意してください。
- 取扱いの際に手が汚れていると手跡がついて消えにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- 扉・枠ともに重量がありますので、取り扱い・ケガに十分注意して下さい。扉の吊り込み・取り外しは必ず2名以上でおこなってください。
- ドアは乾燥度が高いため、枠を取り付ける構造材は出来る限り乾燥材、または集成材を使用することを推奨します。
- 建築完了までダンボール等で本体および枠への養生を推奨します。養生の際には本体および枠に直接粘着テープを貼らないでください。（粘着剤が残る可能性があります。）
- 品質には万全を期しておりますが、お気づきの点や不良品がございましたら、施工前に必ずご相談ください。特に、梱包にへこみややぶれがある場合、運転手立会いのもと確認を行っていただき、写真を撮影 施工後の交換にはご対応できません。

用意するもの

- パッキン
- 取り付け用ステンレスビス L90以上
※L型金物での設置も可能です。

施工の手順

- ①下レールの養生テープをはがす



- ②タテ枠を上枠に取り付ける

- ・両面テープの紙をはがし、専用ビスで留めつけてください。
- ・上枠への取り付けはタテ枠側からビスで留めます。
- ・タテ枠のビス穴を付属のダボで埋めてください。



③方立を上枠に取り付ける

- ・両面テープの紙をはがし、ホゾを上枠に差し込みます。



④下レールを取り付ける

- ・タテ枠および方立の下部の両面テープの紙をはがし、下レール側から専用ビスで留めつけます。



●建物躯体への設置

※必ず扉を外した上体で取付けてください。

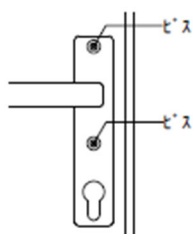
- ① 取り付ける前に躯体の取り付け箇所の水平、垂直、前後の傾きを確認する。
- ② 取り付け部の下側に高さが揃うようにパッキンを取り付け、水平を確認した後で窓を乗せる。
- ③ 吊り分銅などで垂直、前後の傾きを確認しながら楔にて仮止めをする。垂直は枠と障子の縦のチリ寸法も確認しながら行って下さい。方立も水平・垂直になっているか、ご確認ください。気密性を保つために非常に重要な部分になります。
- ④ 窓枠との隙間にパッキンを差し込み本締めする。（ビスの間隔は300～500mm）
- ⑤ 確実に固定した後で位置決めに使っていた楔をはずし、必要に応じて発砲ウレタン等を枠と躯体の隙間に注入して額縁、シーリング、防水シートなどの処理をおこなう。

※取り付け方が不十分な場合や躯体が変形している場合、開閉が正しく機能しない事があります。特に鴨居の垂れ下がりや開閉不具合の原因となりますので、垂れ下がりのないよう取り付けの際ご注意ください。

※L型アングルを使用して枠を取り付ける場合は、方立も躯体へビスなどでしっかり留め付けてください。

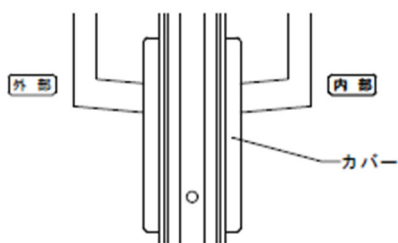
●扉の吊り込み

- ① 扉のハンドルを付ける（芯棒を扉に差し込み、扉両側より芯棒に差し込むようにハンドルをつける）



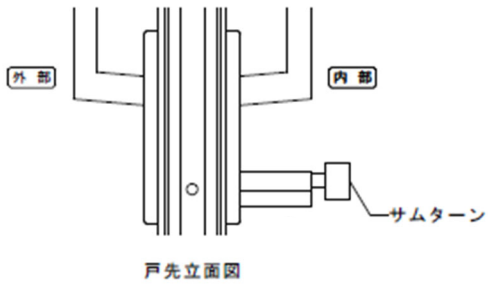
内観立面図

↑上図の箇所を専用ビスで留めつける

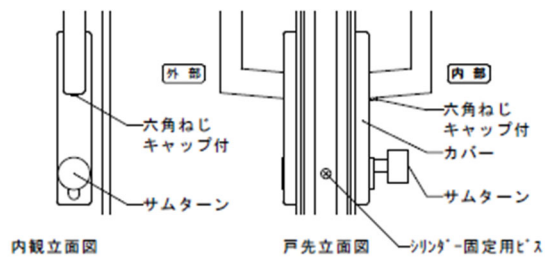


戸先立面図

↑カバーを差し込み、取り付ける



↑ シリンダーを差し込む



↑ 戸先からシリンダー固定用ビスで留めつける

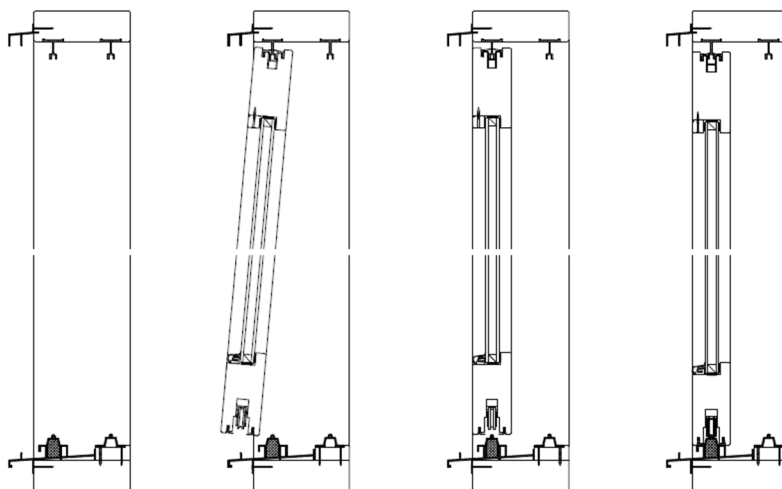
ハンドルの根本にある六角ビスを締め付けて、プラスチックのカバーを付ける

【ソフトクローズの場合】

- ・ソフトクローズ金具を、下穴に添って留めつける
- ・扉を釣り込む際は、トリガーパートと接触するように、必ず戸先側から扉を枠に吊りこむ

② 扉を枠に吊りこむ

- ・扉の戸車が扉内に引っ込んでいる状態（ハンドルが上を向いている状態）で吊りこんでください。
- ・上レールへ差し込み、次に下レールの上に設置します。



① 枠を固定します。

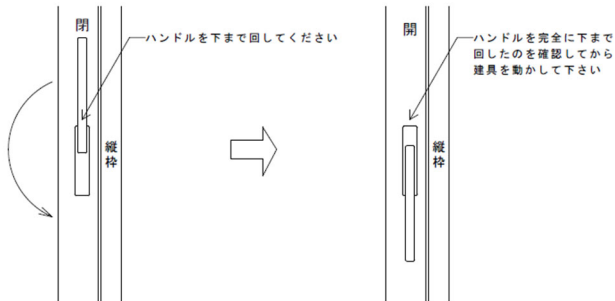
② サッシはケンドン式になっています。
ハンドルが上を向いている状態で、
障子を入れてください。

③ 障子を入れた後にガイドを付けてください。
(別紙参照)
障子外すときはガイドを外してから、
障子を外してください。
ガイドを外さないと障子は外れません。

Ver.01 (20181218 更新)

- ・ 設置後、ハンドルを 180 度まわし、扉を可動状態（ハンドルが下に向いている状態）にして、戸車の下レールに乗っていることを確認します。

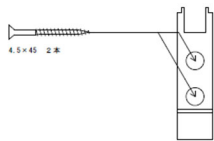
ハンドルの使い方について



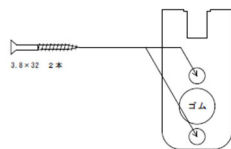
※ハンドルを途中で止めて使用すると故障の原因となります

③ 扉にガイド部材を付ける

- ・ 扉を可動状態（ハンドルが下に向いている状態）にし、戸先・戸尻の上部にガイド部材を専用ビスで留めつけます。



戸先ガイド



戸尻ガイド

※戸先・戸尻には下穴があります。

施工の後に

- 施工終了後、扉を閉め、ハンドルを 180 度まわし（ハンドルが上に向いている状態）、扉がしっかり枠に締め付けられるのを確認してください。
- 扉の開閉が重い、扉と枠の間のクリアランスが扉上下で異なる、クリアランス（隙間）が大きいなどの場合は、枠と扉が正しく設置されていない可能性があります。外壁・内壁の施工の前に、施工の手順に従ってもう一度施工をしてください。
- 本製品は高い性能を出すために「ヘーベシーベ金物」を使用しており、取り付け後の細かい調整ができません。施工の際は下地や水平・垂直など正しく設置されていることを必ずご確認ください。
- 開閉不具合などの初期不良の可能性がある場合は、必ず外壁・内壁の施工前にご相談ください。外壁・内壁を仕上げてしまうと調整および交換ができないため、ご対応できませんのでご注意ください。
- 施工終了後、乾いた雑巾などで表面の木屑や埃をきれいに拭き取り、養生をしてください。
- 扉全体を養生シートで覆うようにしてください。一部が露出すると、日焼けして色むらになってしまいます。また、方立も養生をお願いいたします。（ハンドルの回し方が不十分な場合、方立に傷がつく恐れがございます。）
- 養生テープは必ず小口面へ貼ってください。扉の表面および枠に直接貼ると表面にテープののりが残ったり、木材表面の繊維や塗装が剥がれるおそれがあります。
- 養生中もテープの剥がれが無いかを都度確認してください。隙間から小石やゴミ等が入ると、表面のキズやへこみの原因となります。
- 掃除・メンテナンス方法についてはユーザーマニュアルをご覧ください。

免責事項

下記が原因として発生した不具合は、免責とさせていただきます。

●天然木の特徴によるもの

- ・色違い
- ・木目・節の違い
- ・ヤニ
- ・経年による変色
- ・伸縮
- ・軽微な反り・割れ
- ・キクイムシなどの虫の発生

●施工取付後に発見された故障及び損傷

●性能に影響しない軽微な反り・狂い

●雨染みや塗装の色褪せ等の経年変化またはご使用に伴う磨耗や汚れなどの外観上の現象

●開閉金物や戸車など消耗品のメンテナンス・交換

●衝撃によって生じるへこみ・キズ・破損・汚れ

●下地の不陸など本製品以外が原因によるもの

●設計・施工マニュアルに基づかない設計・施工で発生した不具合

●ユーザーマニュアルに基づかない掃除・メンテナンスで発生した不具合

●不適切な保管状況が原因で発生した反り・キズ

●不適切な養生により発生したキズ・色むらなどの不具合

●その他天災等によるもの

※施工後の返品やクレームにはご対応できません。

万が一商品に問題があった場合は、必ず施工前にご連絡ください。

大和屋 株式会社

住所：埼玉県熊谷市末広 2-118

電話：048-526-1001 FAX：048-526-1011 メール：call@yamatoya-kk.co.jp

ホームページ：http://www.yamatoya-kk.co.jp/kenzai/